

## 特長

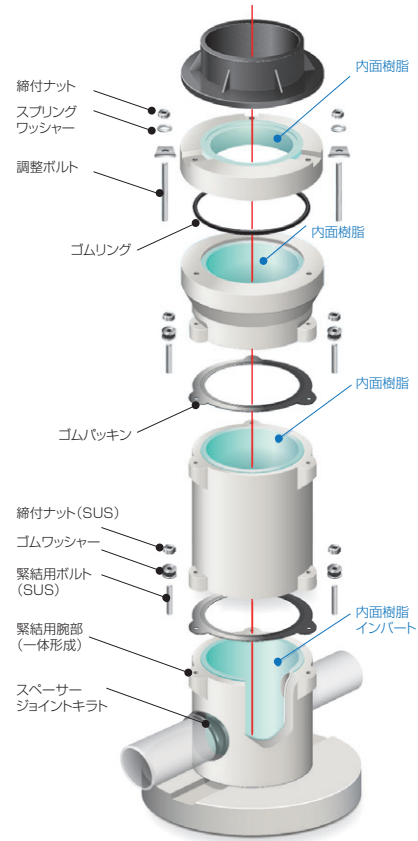
### マンホール内面をすべて樹脂化した構造

■樹脂とコンクリートを一体化した新しい構造です。インバート部を含め、マンホール内面を全て樹脂化し、長寿命かつ高性能な製品とすることにより、小型マンホールの革新をはかりました。

### 確実な止水性

■躯体の接合部を、ゴムパッキンとボルトで緊結することにより、確実に止水します。機械的に接合するため、施工のばらつきによる性能低下もありません。

名称	呼び名	参考質量(kg)	名称	呼び名	参考質量(kg)
調整リング	SHB30-R10	25	底版	SHB30-P	68
	SHB30-R15	37		可とう性継手	SJキヲト VU150
斜壁	SHB30-T15	33	SJキヲト VU200	—	—
	SHB30-T20	42	止水材	SHシール	—
直壁	SHB30-S30	55	調整ボルト	L=150	—
	SHB30-S60	109		L=250	—
	SHB30-S90	163		L=350	—
管取付壁	SHB30-B40-150	80	調整コマ	M12	—
	SHB30-B60-150	119	無収縮モルタル	—	12.5
	SHB30-B80-150	159			
	SHB30-B40-200	78			
	SHB30-B60-200	117			
	SHB30-B80-200	157			



## 施工要領

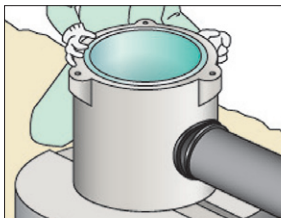
### 1. 基礎工



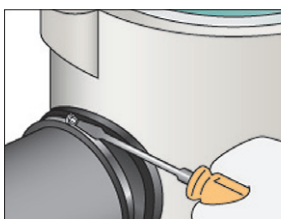
### 2. 底版設置



### 3. 管取付壁設置

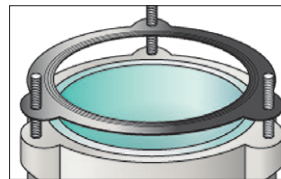


①管取付壁を押しながら、本管を可とう継手(スペーサージョイントキヲト)に挿入してください。  
\*手押しでやりにくい場合は、底版溝にバール等を差し込み送り込ませるようにします。



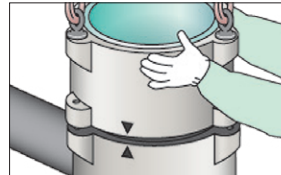
②可とう継手と本管との隙間がないことを確認後、ステンレスバンドを十分に締め込みます。(5~7N・m程度)

### 4. 直壁・斜壁設置



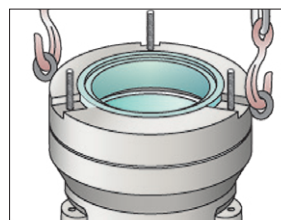
①管取付壁の上面を清掃し、緊結用腕部に緊結用ボルトを取り付けて、ゴムパッキンをセットします。

②直壁・斜壁を緊結用ボルトに通るようにはして設置します。この時、ガイド目印(▲▼)が上下合う様にして下さい。



③締め付けナットを締め込みます。この時、ゴムワッシャーのゴム部がワッシャー部と同じ径にふくらむまで締め込みます。

### 5. 調整リング設置



①斜壁に調整ボルトを取り付けて、調整リングをセットします。調整リング下部にゴムリングをセットするため、充填材等の必要はありません。  
②スプリングワッシャーが平らになるまで締め込みます。

### 6. 鉄蓋設置